
クリスマス事情、本部

遥胡

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

クリスマス事情、本部

【Nコード】

N7756F

【作者名】

遥胡

【あらすじ】

聖夜に行われた、サンタとトナカイのやり取り。今回の場所はいつもと違って・・・

（前書き）

一応『クリスマス事情、再び』の続きになります。
分かりにくい表現があるかも知れませんが、頑張ってください（笑）

終わった。

今年も長かった。ガキはさっさと寝ろよ、たくつ。

さみいんだよ。

今年は雪が降らなかったただけよかったけど、さみいもんはさみいんだよ。

本部もさあ、もっと考えろよ。暖かく快適に配れる方法をよ。サンタは殆ど年寄りなんだし、もっと体を労ろうぜ。こつちだってそんなに若くないんだぞ！

「今年も終わっちゃったね。雪が降らなかったのは残念だったけど、街のイルミネーションが

綺麗だったから許しちゃう。寒いからこそイルミネーションを見たときの気持ちってあんなに盛り上がるのかな？

でも、私たちはまだ若いから寒さに負けちゃダメよね！」

「……………」

「あれ、どうしたの？何も言わないの？調子悪い？」

「お前がこのやりとりで飽きたって言うから黙ったんだろうが！言っていないなら言うぞ？！」

お前は、なんで、そんな正確に俺の気持ちができるんだ？！しかも、否定的な意見だしよお！

いや、それはまだいい。人……つか、おまえはトナカイだが、個人個人、意見はそれぞれだからな。

だが、心の中が読まれてるのは納得いかねえ！俺の人権は？！プライバシーは？！」

はあ、はあ、い、言ってやったぞ。

さあ、どうでる？正直、あのときの怒りがまたくるんじゃないかと
内心ドキドキだ。

俺いつからこんなに情けなくなっただんだ。
なんか泣けてくる。

「ははは、すごい声だのお。向こうの方まで聞こえておったぞ」

「あつ、ランドリーさん、お疲れさまです」

「お疲れさん、日本での仕事はどうだい？」

「楽しいですよ。最近の子供たちは夜更かしする子が多いけど、仕方ないですよ。ランドリーさんのところはどうですか？そっちは雪とか吹雪いてて大変でしょう？」

「いやあ、毎年のことだから慣れてきたよ。トナカイも頑張ってくれておるしなあ」

「確かフォースさんですよね？」

「ああ、年だからそろそろ引退だとか言っておるよ。わしもだかな、ははは」

「えゝ、ランドリーさんたちが居なくなると寂しくなります」

「ははは。で、君たちは何を騒いでおったんじゃ？」

うお！忘れられてると思ってたら急に話ふってきたし！ビビるわ！

「ランドリーさん、聞いてくださいよ！この人ったら私に対しての扱いがひどいんですよ」

「なんでだよ！お前の方がよっぽど俺に対しての扱いがおかしいだろ！」

「ははは、仲良うやっておるようで安心したわい」

「どこがですか」

「喧嘩するほど仲がよいと言っんじゃろ？それに、わたしには楽しそうでよく合つとるチームに見えるよ」

「はあ」

確かに仲が悪い訳じゃねえが、良いともいえないと思うんだが……

…。

「まあ、トナカイなんてサンタクロースにならなかつたら会えなかったんじゃないし、サンタになったとしても今のトナカイとパートナーになる確率も高くない。折角なのだから、この奇跡のような出会いを大切にしようじゃないか、お互いになあ」

さすが人生の先輩。妙に説得力があるな。

「おーい！ランドリー、報告に行くぞー！」

「おお、そうじゃった。でわな、お二人さん」

「はい、ランドリーさんたちもお元気で」

「いつか、そちらに遊びに行きますね」

「ははは、楽しみにしておるよ」

奇跡のような出会いねえ

まあ、そうかもな。サンタクロー

スになる奴なんてかなり限られてる。その中でさらに特定のトナカイをパートナーにするなんかまさに奇跡だよな。

「来年も会えるといいね」

「そうだな」

「貴方もあんなカッコいいこと言ってくれたらね」

「お前なあ…」

でも、今は無理でもいつか言ってお前を驚かせてやるよ。

それまでは先輩たちを見習ってみるのも悪くないかもしれない。

（後書き）

昨日につづき、今回はさらにギリギリの更新になってしまいました。
しかし、何とか2年連続二日間更新できてよかったです。
来年も会える事を願って・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7756f/>

クリスマス事情、本部

2010年12月14日17時31分発行